

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	中国語運用演習		
英文授業科目名	Intermediate Practical Chinese		
開講年度	2004年度	開講年次	2年次
開講学期	4学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化演習科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	范 建明		
居室	東1-514		

公開E-Mail	授業関連Webページ
fanming@bunka.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
語彙量の増加と読解力の養成。実用中国語技能検定試験の準4級か4級に合格できる力をつけます。

【前もって履修しておくべき科目】
中国語第一 中国語第二

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
中国語演習

【教科書等】
(例) 教科書：身につく 中国語コミュニケーション 読解編 范建明 沈麗華 張仕英 著 参考書：教室で指示します。

電気通信大学 平成16年度シラバス

【授業内容とその進め方】

1年次で学んだ中国語の発音・基本語彙・基礎文法を復習し、中国語の読み書きをさらに強化し、やや長い文章を読みながらより難しい文の構造や表現を学んでいきます。特に文章の音読みを通して発音をより正確に出来るようにし、中国語の基礎的読解力をしっかりと身に付けさせます。前期で中国語演習を取った方は大歓迎です。なお、中国の文化、風土、中国人の生き方及び中国の最新事情にも触れます。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

出席・授業参加・定期試験によって総合評価をします。

出席：30%

授業参加：30%

期末試験：40%

【オフィスアワー：授業相談】

時間帯は特に設けません。質問・相談があれば、随時応じます。

電話などで事前にアポイントを取ることを。

【学生へのメッセージ】

中国語は第二外国語として開講していますが、近年、中国語を第一外国語として学ぶ学生が年年増えていきます。例えば、交換留学制度を利用して中国の名門大学上海交通大学（電通大の姉妹校）に留学に行った学生は、2002年度年は1人、2003年度年は2人。他にも、一か月や三か月、半年の短期留学に参加した学生も結構いました。中国語学習は一時期のブームではなく、時代の流れになっています。こうした時代の流れをしっかりと掴んで下さい。

【その他】